

梅 樹

3学期スタート ～一つ一つの積み重ねを大切に！～

明けましておめでとうございます。2018年 平成30年が幕開けしました。終業式の日に話したように、家族の一員として、地域に住む一人として中学生らしく、過ごすことができましたか。

お正月は、普段会うことがない親戚の方がみえたり、または親戚の家に行ったりする機会もあったかと思えます。そんな中で、一年一年成長している皆さんの姿を見ていただくこともとても大切なことですね。久しぶりに会ったおじいさんやおばあさんは、とても喜んでくれたことと思います。

宮田中学校としては、この年末年始休業中、大きな事故もなく、すばらしい一年のスタートが切れました。ありがたいことです。この7日には、27年ぶりに県大会に出場した女子バスケット部の皆さん、そして昨日は、アンサンブルコンテストに参加した吹奏楽部の皆さんが、今までやってきた練習の成果を十分発揮してきました。また、来年に向けての課題も明らかになったことと思います。

さて新年にあたって

「一つ一つの積み重ね」というお話をします。

皆さんは、教室からこのランチルームまで何歩で来ましたか。先生は、校長室からこのランチルームまで47歩でした。つまり、47回繰り返し一步一步進んで来たのです。これは、日常の普通のことですが、しかし何事もはじめの一步がないことには始まらない。一つ一つの積み重ねがなければ何も始まらないということです。陸上の100M競技のウサイン・ボルト選手は100Mを41歩で走りきるのだそうですが、全てははじめの一步から、つまりスタートの一步目から始まります。何歩めで上体を起こしていき、何歩目でトップスピードにといったように、彼の41歩にはすべて意味があるようですが、その一步一步の積み重ねが、世界記録へ繋がっているのです。

先ほど、1年生代表 濱野健太郎君 2年生代表 水野彩友夢君 3年生代表 佐々木夏海さんが、新年の決意を発表してくれましたが、そこへ向かって行くためには、一つ一つの積み重ねが大切で、そこへどう立ち向かっていくかが問われてくるのだと思います。

3年前、小惑星探査機はやぶさの2号機が打ち上げられましたが、日本のロケット工学の第一人者である糸川英夫博士の名前を聞いたことがあるでしょう。博士は、60歳を過ぎてからクラシックバレエを始めたそうです。それまで、研究が忙しく自分がやりたいことができなかつたので、60歳の年から始めたのですが、そうはいっても年をとっていますから、バレエのレッスンで、なかなか足が上がらなくて苦労したそうです。何度も何度もやってもうまくいかないので、あきらめようと思ったこともあったようですが、「60歳と言えば還暦。もう一度赤ちゃんに戻ったつもりではじめからやってみよう」と博士は考えました。

まずはじめに、自分の部屋のタンスの一番下の引き出しを引いて、その高さまで足を上げてみました。「これはうまくいきそうぞ」と確信した博士は、次の日、引き出しの上に新聞紙を1枚乗せて足を上げました。新聞紙たった1枚分です。それも簡単にできた。そして、次の日も1枚次の日も1枚と新聞紙を積み重ねていったそうです。それを1年間コツコツ積み重ねていったところ、足は頭の高さまで上がるようになったそうです。できないからやめるのではなく、できることから始めて一つ一つを積み重ねていくということ、これが大切なんですね。

また、糸川博士は、「逆転の発想」という本の中で、「研究の中で、間違えたことを絶対にノートから消さないこと」を強く勧めています。間違えの中に、次につながるヒントが隠されている。間違えを消しゴムで消してはいけないということを学生たちにも常にいい続けたようです。こんなことも一つ一つの積み重ねですね。

新しい年を迎え、3人の代表の生徒からは、それぞれ発表がありました。ここにいる全員の皆さんもそれぞれの目標やこうしたいというものを決めてきているのではないかと思います。3年生は、いよいよ進路、3年間積み重ねてきたことに、最後の勝負の時を迎えますね。今朝も、このランチルームで朝学習に取り組む生徒の姿をみる事ができました。

日々の一つ一つのことの積み重ねが、これからの自分の将来を切り開きます。自信を持って取り組んで下さい。

また、1・2年生は、次なる自分のステップに向けて、どんな小さな事でもいいので、一つ一つの積み重ねを大切にできる、そんな3学期になることを願っています。頑張りましょう。

(1月9日 3学期始業式校長講話より)



学校長あいさつ



各学年代表決意発表者
3年佐々木さん、2年水野君、1年濱野君



校歌伴奏 岩永さん

生徒総会&引継会がありました(12月末) ~3年生ありがとう 2年生頼みます~



とうとう引継ぎの日がきました。今振り返れば、1年というのはとても早いと感じています。生徒会長になったときは、これからどうすれば良いのか、どうなってしまうのかと心配や不安の気持ちがいっぱいだったのを思い出します。しかし、生徒会役員やクラス、学年のみんな、小田切先生や先生方の支えがあったからこそ、自身をもって悔いなく増田くんを引き継げるのだと思います。生徒会長として自分は行動できていたか分かりませんが、生徒会長になれて本当によかったと心から思います。卒業するまでは、しっかりと元生徒会長として、見守り、支えていきたいです。



開校70周年記念品贈呈式がありました



今日は、宮田中開校70周年記念品贈呈式がありました。記念品は、演題や旗など合計すると何百万もする貴重なものをいただきました。本当にありがたかったです。そして私は宮田中が建てられてもう70年も経つんだなあと思うと当時からの伝統や校舎は先輩方によって大切に受け継がれていることを改めて実感しました。そしてまた改めてこの校舎や同窓会の方々、寄付していただいた人たちに感謝したいと思ったので、また明日からの校門の一礼、一心不乱清掃を丁寧にその気持ちを込めてやりたいです。

職員研修報告

職員会議において非違行為防止研修を行いました。1月10日は、～飲酒運転根絶のために～「飲酒運転の交通事故で娘さんを亡くした親の手記」と「自分の飲むアルコール量と処理にかかる時間の目安」から学びあいました。以下は、職員の感想です。

○不意に娘の命を絶たれてしまった遺族の方のつらさがひしひしと伝わってきます。楽しいはずのお酒が一つの判断ミスで殺人につながるということを感じ、恐ろしく思うと同時に、肝に銘じたいと思いました。

○家族が進学等で家を離れるだけで、私たちは寂しさを感じます。それが“死”となると、どれだけ泣いても、叫んでも、せつない気持ちは一生変わらないと思います。自分も十分に気をつけ、運転をし、又何は起こるか分からない毎日、気をつけたい。

○当事者になってからでは遅すぎるので、このような研修で時々意識をしていくことが大切だと感じます。



大会・コンテスト報告

- 第48回長野県中学校新人バスケットボール選手権大会
予選リーグ 宮田 56-56 戸倉上山田 宮田 37-42 野沢
戸倉上山田 43-45 野沢
0勝1分 総得点差で予選リーグ3位 敗退
- アンサンブルコンテスト上伊那大会
サクソ3重奏…銀賞 木管3重奏…銅賞 金管3重奏…銅賞

